



特別
 子12
 3643
 13(21)





鳴りつるうぐく松吹舟も長閑きく
空雲めきるあきほらき船も首あ
浦つるひ菘戸は早く急はきりく
いふ初ある川前之作 皆
訥詔あらしも者ハお出よと尸人
あしんがやよ皆く地は園人洗浦
の城主女殿の浄入部うて有る

が事もうきあらし者ハお出
しんがやよ皆く地は園人洗浦
昔の素人ぐくきりし軍師 ありさあ
是あらしの訥詔あらしも者ハお出
あらしの訥詔あらしも者ハお出
あらしの訥詔あらしも者ハお出
あらしの訥詔あらしも者ハお出

も因^イ果^クのめ^アら^ク小^コ車^{クルマ}の^ノや^タた^キま^レ
人^{ヒト}の^ノ罪^{ツミ}科^カハ^ハ皆^ミ報^{ホウ}シ^スら^シあ^リ
科^カ子^コあ^リも^モ御^ミの^ノ実^ミ科^カも^モた^タめ^メも^モ
浪^{ナミ}の^ノ底^{ソコ}よ^ク志^シの^ノめ^メら^レひ^レ情^{シヨウ}あ^リま^ス
よ^クま^シて^シひ^レあ^リま^シた^レは^ハ前^{マエ}よ^クま^シ
て^シあ^リ何^{ナニ}と^シ科^カ子^コを^シ浪^{ナミ}に^シ沈^シめ^ル
恨^{ウラミ}ハ^ハ更^マよ^クあ^リま^シと^シ扱^{アツ}あ^リま^シ科^カ子^コと^シ

吸^{ヒク}子^コ沈^シめ^ルは^ハひ^レも^モん^トあ^リ音^ネ大^{ダイ}
う^ウ行^{ユク}と^シく^クあ^リも^モ人^{ヒト}の^ノま^マと^シ
あ^リ中^{ナカ}し^シよ^ク具^クの^ノ根^ネを^シ取^ツり^テ沈^シめ^ル
も^モ弟^{テイ}ひ^レま^シた^レは^ハ母^{ハハ}の^ノ身^ミも^モ
ら^レひ^レ磨^マり^テま^シ給^ツり^テ恨^{ウラミ}り^マス
ま^シま^シ下^カ高^{カウ}い^イま^シら^レは^ハか^カ考^{カウ}山^{サン}女^メよ^ク
う^ウあ^リま^シた^レ人^{ヒト}の^ノ扱^{アツ}ひ^レ草^{クサ}も^モ三^{サン}け

ハ幡又云隆の内告と思日家の子
わつたうもわつたう陽カ被カ男トとカニ
人契マまマまマれレ君シ日ヒ出イ洗海シありシと
心マ直キとマぬマるマ感モ徳リのシとマぬマるマい
ちく下ケ筋ラ筋ラありラ者シありシとマぬマるマい
は語シとシ思ヒ日ヒ不レ便レふレとマぬマるマい
ぶシとシ思ヒ日ヒ不レ便レふレとマぬマるマい

沈めと歸ルと一ク海ノ子ノあり
きルよりカよりク行キもカ母ノあり
と思ヒとシ恨ミとシれル女ノ被カ執ル子
とマぬマるマいシはカ日ヒ出イ洗海シありシと
心マ直キとマぬマるマ感モ徳リのシとマぬマるマい
ちく下ケ筋ラ筋ラありラ者シありシとマぬマるマい
は語シとシ思ヒ日ヒ不レ便レふレとマぬマるマい
ぶシとシ思ヒ日ヒ不レ便レふレとマぬマるマい

一もすくもたふらりきりあつほ
らりきり文政のよらり事きく
方よしよんききしや行ひよ
頃と隠しあつたを深かひと
思ふもぬり門を出入徳事子
里をゆきた子をば忘れぬ親ある子
とれまらきりこらうも竹の駒う

名も...
若もや人の親乃心闇よりねを
思ふ道よ味もて今結ぶ知事
本も定め物も世の理りたまふ
若もわらざるのゆゑあれは
ありききそ縁面く物若鶴の眼
乃ららあれや夢を思ふ親と子
ヤラハ...
あまりの年あがりうめよ立

孝者ももろくも死に候と云ふは思ふ事あり
まじき事なり 由りしかる程にたゞのみ
盡ぬ事執とぞし為よき事なり
恨とら自の具よはゆき浦浪の
友さる渡りてとよの信とたも
岩波のげ瀬の根ある清き水と
教へしまよかりとす 引前ヨクの

けをてあゝぬのこが 昔より今よ
至るまで馬あきうまをわする事
希代の様ありて 此鴻を恩
あはれなる恩をも 我ゆへは
あま一命をたす 馬あき
を渡さるも是る希代のあり



